



水口さんのアトリエ。緑豊かな自然に囲まれた中で制作に打ち込んでいる。

ことに決めました。一人になつてオブジェの制作に没頭したいという思いのほかに、何よりも「神と繋がりたい」と願つっていました。

それもあり、移り住んでから2年ほどは、あまり人に会わず、制作に打ち込む生活を送りました。

その後、宮崎県の都城市に移り住んでからは、それまでのオブジェという物作りではなく、絵を描くようになつたんです。今から9年前のことです。

## 精霊たちとともに生きる ホピ族の村に滞在

気づいたら、私は常に宇宙(源)と繋がるようになつていきました。

祈りの時には、「おー」「あー」など の声を出します。時には、歌になることもあります。

阪神淡路大震災から2年

経った頃、本を読んで、ネイティブアメリカンのホピ族が「声のチューニングで地球の地軸を修正していく」と知りました。

ちょうど私はニューヨークでグループ展を行う予定もあり、6ヶ月滞在するところになつたので、彼らのもとを訪れるにしたんです。

でも、ホピ族の村に一番

新しい空港からは、バスが

部屋中に飾られた今までの作品。

通つていません。それで、思い切つてヒッチハイクをしたら、無計画にもかわらず、彼らに会いたいという思いが通じたのか、村までスムーズに辿り着けました。

しかも、村で出会った少年の家や、彼の親戚の家にホームステイさせてもらえたんです。

幸運なことに、私が訪れた時は様々な種族が集まるフェスティバルの最中でした。ホピ族のほかにナバホ族など、たくさんネイティブアメリカンの種族と出会うことができてうれしかったです。

残念ながら、ホピ族のシャーマンとはすれ違いで会えませんでした。その代わり、私は彼らの聖地を訪れて、そこでしばらく過ごすことができたんです。

不思議なことに、その時、ホピ族の精霊が私の心中に入り込んだような感覚がありました。

帰国後、その続きが起きました。夜、夢の中で、私のそばにネイティブアメリカンの男性が現れ、様々な物語をしゃべり始めたんです。

それでも夢の中で何度もメッセージを受け取っていました。私は、その現象を理解できなかったので、エネルギーに敏感な知人に相談すると、「会えなかつたシャーマンとその子供たちがエネルギーを送つてくれていた」と教えてくれました。

奈良にいた頃、私は素晴らしいメッセージをたくさん受け取っていました。でも、当時は、「自分はまだ未熟で、メッセージの通りには生きていらない」と感じていました。

絵を描いて発表するうちに、「絵のエネルギーが強く、細胞を活性化させるヒーリングの働きがある」と何人かに言われるようになりました。絵のエネルギーが見る方の心と体のエネルギーを高め、チャクラを開き、ヒーリングしているのではないかと思っています。また、絵を通じて、メッセージを伝えることができることに気づきました。

絵を見た方から、「涙が出てきた」「癒された」などの感想をいただきました。私は、「自分の使命はこれかもしれない」と確信を深め、自分の絵をエネルギーアートとして、本格的な活動をすることに決めたんです。

絵を最初に描き始めたのは、自動書記的なものからでした。

その際に、神代文字のひとつである阿比留草文字のようないわゆるシリウス系の文字でないかと感じています。シリウスは龍系のエネルギーの種族のように思えるので、流れるように文字を書くのは、私自身もシリウス

## メッセージを伝えるための エネルギーアートとして

とが理解できるようになつたんです。